

西丹沢ビジターセンター 秋のおすすめアイテム

西丹沢ビジターセンター

9月に入ると本格的な秋の登山シーズンに突入する西丹沢。夏山登山に比べ、日帰りでも装備品が色々必要になってくるのが、秋からの登山です。「秋の日はつるべ落とし」と言われるように、日が短くなるのでヘッドライトと予備の電池は必需品となります。また、秋の山は寒暖の差が大きくなるため、防寒着なども装備品に加わります。

そして、登山歴のある方にも、これから登山を始める方にも装備品に加えてもらいたいのが「ホイッスル」です。この20グラムに満たない小さな携行品がとても役立つのです。

登山中の用途としては「クマよけ」です。見通しのきかない狭い登山道などで吹くことにより、クマを遭遇する前に追い払ったり、近くの登山者に対して人が来ることを知らせたりすることができます。熊鈴も効果はありますが、常に音が出ていて他の登山者が不快に思うこともあるようです。その点、ホイッスルであればそのような心配をしなくて済みます。

道迷いや滑落でケガをして動けないなど、もしもの時のホイッスルの用途が「位置を知らせる」です。ホイッスルの音は人の声よりも遠くに届く上に、遭難時に大声を上げて助けを繰り返し呼ぶ場合より、体力の消耗を抑えることができ、発見される確率を上げることができます。山岳救助隊もホイッスルを吹き位置を知らせながら捜索活動を行っています。

ホイッスルは自分の存在を知らせる重要なアイテムであり、ホイッスルを携行することで多くのリスクを軽減できます。登山以外でも災害時に同様に役立ちます。

この秋からは是非、山歩きの装備品の一つとして携行していただきたいと思います。(執筆:澤田)



ホイッスル

【新型コロナウイルス感染症対策に関するご注意とお願い】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各施設をご利用いただく際は、手指の消毒の徹底・マスクの着用をお願いするとともに、展示室の人数制限をさせていただく場合があります。



箱根ビジターセンター、秦野ビジターセンター、西丹沢ビジターセンターのFacebookページ公開中！ 最新の情報をご覧ください。

自然公園へでかけよう



環境省箱根ビジターセンター

Hakone Visitor Center
〒250-0522 足柄上郡箱根町元箱根 164
Tel 0460-84-9981
<http://hakonevc.sunnyday.jp/>

県立秦野ビジターセンター

Hadano Visitor Center
〒259-1304 秦野市堀山下 1513
Tel 0463-87-9300
<http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawave/>

県立西丹沢ビジターセンター

(旧西丹沢自然教室)
Nishi-Tanzawa Visitor Center
〒258-0201 足柄上郡山北町中川 867-2-9
Tel 0465-78-3940
<http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawave/>

開館日、開館時間、イベント予定等は各ビジターセンターまでお問合せください。

野鳥観察にお得な季節です!?

秦野ビジターセンター

秋は鳥の渡りシーズンです。9月に入ると、春から夏にかけて丹沢をはじめ日本で過ごしていた夏鳥たちが徐々に東南アジアなどの南方へと長い旅路を出発していきます。一方、10月に入ると、ロシアなどの北方から日本で冬を過ごすために冬鳥たちが渡ってきます。ちょうど10月頃は、居残っている夏鳥と到着早々の冬鳥の両方に出合えるかも!?!?しれないお得な季節です。

10月下旬のある日「ヒッヒッ クルルルッ」という声に誘われて姿を探してみると、黒と黄色の羽色のコントラストが美しい夏鳥のキビタキ(オス)がいました。繁殖期には綺麗なさえずりを響かせていましたが、「ヒッヒッ」は地鳴きという目立たない鳴き声です。近くには「ヒッヒッ カッカッ」と鳴いている銀色頭にオレンジ色のお腹、黒い羽に白い紋が特徴の冬鳥、ジョウビタキ(オス)もいました。ジョウビタキは越冬場所に到着すると、オスもメスも1羽1羽が縄張りを作り見回っています。お隣のキビタキを気にしているようでした。

夏鳥は木の実などをたくさん食べて、南方への旅路に備えます。冬鳥はこれから来る寒い冬を乗り切るために、餌を確保するのに有利な場所を探して縄張りとしします。秋は、そんな夏鳥と冬鳥の両方の営みを観察できる、貴重な季節です。(執筆:長澤)



夏鳥:キビタキ
(オス)



冬鳥:ジョウビタキ
(オス)

最近気になっていること

箱根ビジターセンター

最近、記録的短時間大雨情報が頻繁に聞かれるようになってきました。記録的短時間大雨情報とは、大雨警報発表中に、数年に1度程度しか発生しないような短時間の大雨が観測された場合に気象庁から発表されるものです。1時間に100ミリ前後も降りますので、斜面地などでは道路が急流の川のようになってしまいます。

このような異常気象の原因と考えられているのが、地球温暖化です。温暖化や気候変動の影響は身近な自然にも及んでおり、例えばここ仙石原では、蝉の声を聞いていると蝉の種類が変わってきていることに気が付きます。50年前にはほとんど聞いたことのなかったクマゼミやミンミンゼミ、ニイニイゼミが鳴くようになりました。また、蝶の種類を見てもツマグロヒョウモン、モンキアゲハ、アオスジアゲハなどの南方系の種が見られるようになってきました。



ミンミンゼミ



ツマグロヒョウモン

身近な自然といえば、庭の草木はどうでしょうか。これだけ大量の雨が降れば十分水を得られていると思いがちです。しかし、意外とそうでもありません。今年のように梅雨が早く明けて晴天が続くと、地表がカラカラに乾いてしまい、降った雨が中々地面に浸み込まずに地表を流れてしまうため、短時間の雨では地中は乾いたままです。よって、やはり水遣りが欠かせないのです。日差しの強いときに葉の上から水をかけると水がお湯になり葉が火傷をします。水遣りの時間に注意しましょう。(執筆:上妻)

編集・発行:公益財団法人 神奈川県公園協会 〒231-0027 横浜市中区扇町3-8-8関内ファーストビル6階
TEL:045-651-0931 FAX:045-651-0932 ホームページ <http://www.kanagawa-park.or.jp/>

後援:丹沢大山自然再生委員会

神奈川県公園協会

検索